

## 報道各社御中 ← 環境省広報室

石川県の死亡野鳥におけるA型鳥インフルエンザウイルス遺伝子検査陽性について (H29.1.18 15:00)

現時点での検査状況等について、以下のとおりお知らせします。

番号	都道府県	場所	種名	回収日	簡易検査	遺伝子検査	高病原性鳥インフルエンザウイルス確定検査	監視重点区域指定状況
205	石川県	加賀市	ヒシクイ	1/15回収	陰性	1/18陽性	確定検査機関で検査中	1/18指定

(太枠内下線が今回の情報です。)

※現時点での野鳥等における確定検査陽性の確認件数(飼育鳥類、糞便、水検体含む)  
17道府県 173件

## 【案件No.205について】

1月15日に石川県加賀市で回収されたヒシクイ1羽の死亡個体で、遺伝子検査を実施したところ、A型鳥インフルエンザウイルス陽性反応が出ました。確定検査はこれから鳥取大学で実施する予定です。確定検査には1週間程度かかります。また、1月18日より個体確認地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化しています。

※現時点では、遺伝子検査により陽性が確認されたものであり、病性は未確定、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたわけではありません。

※確定検査の結果、陰性となることもあります。

なお、野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルについては、国内複数箇所発生時の「対応レベル3」にすでに引き上げております。

## 【参考：案件No.205について】

## 1 主な経緯等

## (1) 死亡個体の確認地点

石川県加賀市

## (2) 経緯

- ・ヒシクイ1羽の死亡個体を回収(1月15日)。
- ・簡易検査を実施したところ陰性だったが、遺伝子検査機関で検査を行ったところ、18日にA型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が出たと報告があった。
- ・回収地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定(1月18日)。
- ・鳥取大学において確定検査を実施予定。

## 2 今後の対応

- (1) 野鳥監視重点区域において、野鳥の監視を一層強化。
- (2) 全国での対応レベルは、すでに対応レベル3として監視を強化しており、引き続き監視を強化。
- (3) 「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」

( [http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/manual/pref\\_0809.html](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/manual/pref_0809.html) に掲載) に準じて適切に対応。

【留意事項】

- ・ 鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等の特殊な場合を除いて、通常では人には感染しないと考えられています。日常生活においては、鳥の排泄物等に触れた後には手洗いとうがいをしていただければ、過度に心配する必要はありませんので、冷静な行動をお願いします。
- ・ 周辺地域のみならず国民の皆様におかれては、「野鳥との接し方について」([http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/manual/20101204.pdf](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/manual/20101204.pdf)) に十分留意されるようお願いいたします。

【取材について】

- ・ 現場での取材は、ウイルスの拡散や感染を防ぐ観点から、厳に慎むようお願いいたします。

※ 環境省はホームページで高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。 ([http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/))

平成 29 年 1 月 18 日 (水)

自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

直 通：03-5521-8285

代 表：03-3581-3351

企 画 官：東岡 礼治 (内線6475)

鳥獣専門官：根上 泰子 (内線6676)